



2013 年度事業計画

特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお

2013 年度は、みのお市民活動センターがかやの中央に移設して 10 周年の年にあたります。

この 10 年で市民活動支援の基盤は整備され広がりを見せていますが、10 周年を機にさらに市民の認知度を深め、その裾野を広げていく市民活動の拠点をめざします。

また、多様な市民を巻き込み、専門的スキルをもった市民（プロボノ市民）の積極的な参加も促しながら、市民のパワーを活かした事業展開を図っていきます。

1. 事業計画の基本方針

☆ NPOの自立性を高めます

昨年度で終了した「北摂NPO寄附啓発プロジェクト」の一環で実施した「チャリティタウンプロジェクト」を3年目の事業として継続して行い、地域のNPOへの寄附の機運を高めます。また、昨年度で3年を経過して一部改善を行った「みのお市民活動支援金制度」の活用を通して、NPOが自立的な事業実施へ向かう事を支援します。

☆ セクター間の連携を推進します

これまでの実績を踏まえつつ、近隣の大学や企業・店舗と連携した事業を実施し、協働した事業実施等を通して、多様なセクター間をつなぐゆるやかなネットワークを広げていきます。

☆ NPOの担い手を増やします

今後の市民活動の発展のため、これからの社会を担う若い世代の関心をNPOに引き寄せたり、セカンドステージを迎える定年退職者へ市民活動の紹介をしたりすることを通じて、NPOのファンや担い手になってくれる人材を増やしていきます。

(1) 「みのお市民活動センター」の運営事業（センター運営を通して市民活動のサポートを行う）

「みのお市民活動センター」の運営業務（施設等の管理、貸館、施錠）

センター開設利用時間 9：00～22：00

休館日 臨時休館日、年末年始（12月29日～翌年1月3日）

(2) 市民活動サポート事業（受託事業）

1) 非営利公益市民活動に係る情報収集及び提供に関すること

① 情報の収集及び発信

・ ホームページ管理運営

市民活動団体の活動紹介や団体のニーズやシーズの情報公開等、宣伝媒体としてのホームページの充実を図るため、日常的に更新と管理を行なう。また、市民側のマーケティングを見据えて、多様な情報媒体の活用を図る。

- ・ **専門的情報収集**

中間支援組織等との情報交換や各種講座、交流会等への参加、先進地派遣研修等による情報収集・専門的スキルの蓄積を図る。また、近隣NPOセンターへの派遣研修等による専門的情報収集を図る。

- ・ **人材バンク(サポーター登録)**

シニアナビ等と連携して市民活動・ボランティアに参加したい市民の登録を受付けて管理し、市民活動団体や活動につなげる機会を提供する。

② ニュースレター発行業務 配布部数:1000部(年3回)

公共施設、市民活動団体等に配布する。

センター事業の記事を中心に市民活動のトピックスや役立ち情報「市民活動救急箱」、助成金情報などを掲載。フォーラムニュースレターと役割分担を進めながら連携した記事を掲載。専門的スキルをもった市民(プロボノ市民)の参画も進める。また、紙媒体だけでなく掲載内容を多様な情報媒体に活かす工夫も視野に入れ、情報の提供を図る。

③ 情報提供の素材として、地域デビューのための情報誌発行(年2回)

団塊の世代を中心とした幅広い年齢層の地域デビューの受け入れ体制の充実を図り、NPOの入り口としての市民活動の体験メニュー、人材募集などの情報を掲載したNPO初心者向きの情報誌を年2回発行する。

④ ハンドブックの発行(年1回)

前回は2011年度に発行。今回は第2次指定管理期間中、2回目としての発行になる。

集約した情報をもとに公開可能な団体基本情報等をダイレクトリーとして発行する。内容は市民活動の基本情報をデータ収集し、ストックしたものを基本とし、発行形態は紙媒体の冊子とする。NPO・市民活動便利帳的な役割を担う情報に関しては、別冊子としても発行するなど工夫する。

2) 非営利公益市民活動に係る講座の開催、その他啓発に関わること

① NPOフェスタの開催(年1回)

今年度はセンター10周年にあたり、冠に周年事業を入れた企画を視野に入れ展開する。形態は1週間のスパンで展開するものとし、オープニングとエンディングにイベントを行い、活動紹介などのパネル展示、NPOフェスタの冠事業を募集し、会場を提供する。また、さまざまな市民活動のフィールドに興味を持つ仕掛けを提供する。

② スキルアップ講座の開催(年6回)

NPO啓発、人材マネジメント、リーダー養成等の講座を開催して、団体のスキルアップをめざす。NPOのニーズに対応し企画の段階から参画を図って、NPO啓発のための基礎講座からNPO法人格取得等を目的とした立ち上げ講座、広報講座、市民社会講座等計6回を開催し、市民活動団体の課題に沿った講座や、組織基盤強化につながる人材マネジメント、社会起業家の支援まで、段階的にトータルサポートする。

3) 非営利公益市民活動に係る相談に関すること

① 各種専門家相談事業(年2回程度)

会計相談の一環として、会計講座を法人向けや任意団体向けなど対象団体を絞って年2回行う。また、必要に応じて市民活動団体の税務や労務等、専門的な相談業務を行なう。

② 一般相談

日常の相談ケース内容の共有、統計分析等、市民活動の促進を目的に、データシステムを構築・活用しながら実情に合わせた改良を進めつつ、相談内容から課題をみつけ市民活動に反映できるような成果につなげていく。

4) 非営利公益市民活動に係る交流の促進に関すること

① 利用者協議会の開催(年1回程度)

市が行う外部評価に対応し、名称も市民活動交流会から利用者協議会に変更。外部評価の日程に合わせたスケジュールで開催する。基本は市内や近隣のNPO等とのパートナー関係を結び情報の交換やネットワークを構築することを目的として、利用料金の半額免除を受けている団体や、事務ブース入居団体を始め、センターを利用する団体等と、自由な意見交換をする市民活動の交流会を開催する。

② 子育て支援ネットワーク交流会(年2回程度)

子育て関連団体のネットワークを図り、情報交換の場や団体のマッチングの場を提供して子育て環境の基盤整備や活動の充実を図る。

③ 地域コミュニティとの交流・協働

地域と市民活動の連携を深めるため、自治会をはじめとする地域コミュニティの構成団体と地域課題の解決に向けての交流・協働を行なう。

5) 非営利公益市民活動に係る調査・研究事業

① 協働のコーディネーターの重要性

多様な協働の促進の調査研究の中から協働のコーディネーターの重要性が浮き彫りになってきた。今回はそのコーディネーターに焦点を当て、協働の促進に取り組むコーディネーターの在り方を、事例の収集と検証を通して調査研究と併せて、コーディネーターの養成を行う。

6) 非営利公益市民活動に係る支援に関すること

① 市民活動支援金事業

今年度は、昨年度行った制度の見直しを支援金制度に反映して実施する。

申請にあたっての相談はもちろんのこと、交付事業の事業実施についてもアフターフォロー等を行う。

平成24年度の原資残額分を平成25年度の原資に加算して募集を行い、当該年度においても残額が出た場合は、平成26年度の原資加算分として繰り越すものとする。

② 市民活動支援金報告会の開催(年1回)

市民活動支援金交付団体の報告会を、多くの交付団体が報告しやすいよう、年度末を終えてから、次年度4月中に開催する。

7) 非営利公益市民活動に係る場所及び施設の提供に関すること及びセンターの施設の利用に関すること

① センター管理業務

貸館管理業務、センターの施設及び付属設備備品提供に関する業務。一般相談業務。市民活動に関わる場所及び情報の提供。

(3) 自主事業の展開

市民活動のエンパワーメントのための人材育成・研修事業を進め、市民活動団体のネットワークを活かした連携と交流を図りながら、箕面市の市民活動の活性化により、魅力あるまちづくりをめざす。今年センター設立10周年にあたり、この10年の振り返りと共にこれからの市民社会を新たに展望する主旨の記念事業を開催する。

また、団体の課題である資金循環や組織強化するために、昨年度の「新しい公共支援事業」の一環で実施した「チャリティタウンプロジェクト」事業を引き続き開催する。

そして、3.11東日本大震災の復興支援に関しては、様々な支援活動が活発に行われるよう日頃のネットワークを活かして出来る限りの支援活動やサポートをしていく。

1) 市民活動に関する情報の収集・提供

自主事業を中心としたニュースレターの発行と、会員やサポーター向けのメールニュースの配信を行なう。また、ホームページを更新し、市民活動に関わる情報を発信する。

① ニュースレター(名称「市民活動フォーラムみのおニュースレター」)の作成と発行(年3回程度)

市民活動フォーラムみのおの自主事業を中心に、特集や研修報告など、市民活動フォーラムみのおの独自性をアピールするニュースレターを発行する。活動に共感する店舗等の協賛を募りながら、設置協力店舗も広げて行く。(現在約14店舗)

② メールニュース(名称「かわら版」)及びサポーターニュースの配信(月2回)

会員や行政に向けて配信(約80件)。フォーラムみのおが関係する事業や団体会員の事業を紹介する。また、市民活動フォーラムみのおの人材バンクに登録されているサポーター(130人)に対して、「かわら版」にボランティアの募集を付加した「サポーターニュース」を配信する。

③ フォーラムみのおのホームページの管理運営

市民活動フォーラムみのおのホームページを管理・運営し、自主事業をはじめ、市民活動に関する情報提供を行っている。

2) 市民活動を行う個人および団体の運営・活動に関する連絡、相談、啓発、支援

◆活動支援事業

箕面市を中心に活動展開する市民団体の活動支援を、資金循環システムの具体策として、市民

活動応援ファンドや市民活動応援投票見本市などの事業を通して進めていく。

① 市民活動応援ファンド

今年度は引き続き準備期間とし、来年度に向けての寄付金募集を中心に準備を進める。

② チャリティタウンプロジェクト

団体の継続した活動のための資金調達を目的として、昨年度「北摂NPO寄附啓発プロジェクト」の一環で実施したチャリティタウンプロジェクト（寄附付き商品キャンペーン）。地域の店舗と提携し、寄附付き商品を販売してもらい（約2ヶ月間程度の期間限定）、参加NPOに寄附されることを通して寄附文化の普及をめざす。

③ 活動・情報の交流会等の支援

子育て支援や環境保全等の活動・情報の交流会や、かやの中央まち育て交流会と連携する「まんどろ火祭り」の開催など、さまざまなネットワークの場を提供し、情報交換や活動の交流を図る。

④ 活動支援講座の開催

団体の組織力向上を図る勉強会やセミナーなど、市民団体の活動を支援する講座を企画・開催する。

⑤ NPOの「会費」「寄付」拡充のための研究会(大阪ボランティア協会主催)の参加

大阪ボランティア協会主催の事業の企画や相互協力として、昨年度から引き続き会費・寄附拡充研究会に参加する。

◆運営支援委託事業

⑥ 山とみどりの市民イベント等事業

多くの市民がみどりを守る活動に参加するようになることを目的に、市の委託を受けNPO法人みのお山麓保全委員会と共に事務局を担い、実行委員会形式で開催する。

3) 市民活動に関する人材育成を行うこと

◆人材育成

これからのまちづくりを担う若手の人材発掘、企業退職者などの活動支援、市民団体の日常事務をサポートするために講座等を開催する。

① 出会いの広場事業

これから何かしたいと思う市民に向け、気軽におしゃべりをしながら個々の事情に沿ったピアサポート的なサロンを随時開催しながら、市民活動に興味を持つ機会を提供する。

② サポーターへの対応

サポーター制度に登録していただき、NPOの活動補助やイベントのサポート等の参加呼びかけを継続的に発信。サポーターの記録を構築し、活動に対しての感謝状を出すなど、サポーターとしてのモチベーションを保つよう、情報提供をする。今年度は、専門的スキルを持ったプロボノサポーターの発掘を進め、団体や事業等に積極的につなげていく。

③ 地域との連携(ボランティア受け入れ等)

学校のボランティア演習や職業体験、市職員向け人権セミナーでのNPOの啓発など、センターや関連団体が受け入れのフィールドになったり、活動の紹介をしたりすることで、地域との連携を深める。

④ 高校啓発事業

箕面東高校のワールド「社会福祉入門」授業で、高校生にさまざまな分野のNPOを紹介、啓発する授業を行う。

4) 市民活動を促進するための社会的な環境の整備をすること

① 団体との連携

(ア) ボランティアフェスタ「いきいきまつり」(ボランティアセンター運営委員会兼務)

箕面市社会福祉協議会ボランティアセンターと連携して実行委員会に参画する。

(イ) かやの“お宝”人権まつり

らいとぴあ21と連携して実行委員会に参画する。

(ウ) みのお市民人権フォーラム

みのお市民人権フォーラム実行委員会に参画する。

② ネットワーク構築

(ア) 箕面市内の非営利中間支援組織のネットワーク「もっとネット会議」の開催

市内5団体との連携で、月1回程度の事務局レベルの情報を中心とした交流を行なう。

※市民活動フォーラムみのおが主幹

《5団体》 (社福) 箕面市社会福祉協議会ボランティアセンター
NPO法人みのお山麓保全委員会
(財)箕面市国際交流協会
(財)箕面市文化振興事業団
タッキー816 みのおエフエム

(イ) 市民芸術祭実行委員会の参加

市民が主体的に運営する芸術祭の組織委員会に参画し、運営のサポートをする。

(ウ) 企業・大学との連携

昨年度から連携している阪大ボランティアセンター構想を進める阪大学生グループや企業とのコラボレーションを探る中で、大学や企業との連携を深め、相互協力や協働事業などを図っていく。

5) 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するため、必要な事項

① 来館啓発及び表現活動の場の提供

(ア) ほっとコンサートの開催(年4回程度)

センターの周知とにぎわいづくり、市民グループの発表と交流の場の提供、サポーターの活躍の場を目的に、年4回開催する。

(イ) 箕面在住アーティスト展

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、随時開催する。

(ウ) アートの広場(随時)

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、廊下の壁面のスペースを利用した作品の展示を、随時開催する。

② 中間支援組織の研修

(ア) KNNへの参加

関西NPO支援センターネットワーク(KNN)に参加し、他市支援センタースタッフ等と交流し、連携、情報交換を行なう。

(イ) スタッフ研修

NPO支援センタースタッフのスキルアップを向上させるため、研修や勉強会に参加する。

(ウ) 北摂NPO支援センタースタッフ交流会

北摂地区中間支援組織のスタッフを対象に情報交換や勉強会など、それぞれの拠点を連番制で訪問しながら交流会を開催する。

(エ) 大阪府社会起業家中間支援プラットフォーム

大阪府社会起業家ファンド助成金の推薦機関となり、他の社会起業家中間支援組織でネットワークを組み、交付団体のコンサルタント等の支援や社会起業家の啓発活動を行う。

③ みのお市民活動センター移設10周年記念プロジェクト

2013年(平成25年)10月で、みのお市民活動センターは移設10周年を迎える。10年を節目にこれからの10年を展望する記念事業を3つの柱で構成実施する。

(ア) 語り場の場プロジェクト「みのお未来市民フォーラム」

市民社会のあるべき姿を、様々な面から議論する語り場の場として、3回の学習会「市民活動編」「地域編」「CSR編」と1回のフォーラム「“協働”から“総働”へ初めの一步」をシリーズ開催する。

(イ) イベントプロジェクト

10年を経てもまだまだNPOへの関心の薄い一般の市民に対して周知を広げNPOのすそ野を広げる目的で、ライブを楽しみながらバー仕立ての語らいの場を提供して市民活動の一端に触れるような機会を、センター関係者や支援・協力者と共に開催する。

(ウ) 記念媒体プロジェクト

この10年を振り返りつつ、記念事業である語り場の場やイベントの報告も盛り込んだ今後に向けての展望を描いた記念媒体を発行する。